

# KiKiの広場

2018年 5月 1日  
cafe NO.91  
KiKi



「cafe KiKi」の名付け親の角野栄子さんが、児童文学界のノーベル賞と言われる、「国際アンデルセン賞」を3月に受賞されました。日本人としては、まどみちおさん・上橋菜穂子さんに次ぎ3人目とのこと。その受賞記念講演「私の中のこども」が、全国に先駆けて4月30日に下関市でありました。なぜ下関かという、カフェのもう1人の生みの親でもある、下関市のこどもの本の専門店「こどもの広場」の横山真佐子さんと角野さんが30年来のお友だちで、角野さんは下関のことを第2の故郷とまで呼んでおられる関係からだそうです。

実は、受賞される前にヒストリア宇部の館長が、毎年順調に絵本も増えてきているし、この際お世話になっている角野さんの作品を少し充実させようと新しく120冊ほど購入したばかりでした。なんて絶妙なタイミングの良さ！「館長、たまにはやるじゃん！」(おっと、こりや大変失礼しました) カフェに新しく本棚を設置して、角野さんコーナーも作る予定です。どんなものにできあがるか、どうぞ期待！！



## 臨時営業日&臨時休業日のお知らせ

誠に勝手ながら左記の日程で、臨時営業&臨時休業させていただきます。大変ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 5月の予定

休館日	8日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時営業日	5日(土)
臨時休業日	1日(火)・3日(木) 4日(金)・14日(月) 30日(水)



### 「今月のケーキ」…「ミルクレーフ」350円

1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナバージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレープです。

## 今月のお気に入り…「さわやかで気持ちのいい5月に読みたい絵本」

～「おかあちゃんがつくったる」「カンガルーの子どもにもかあさんいるの?」「おかあさんだもの」「ふってきました」など～



「おかあちゃんがつくったる」は、作者の長谷川義文さんの自伝的絵本です。お父さんが亡くなって女手一つで子どもたちを育てるパワフルお母ちゃん。子どもがほしいものを何でもミシンで作ります。でも時には作れないものも、と思いきや・・・。お話の最後のお母ちゃんの姿に、ぐっときます。エリック・カール作の「カンガルーの子どもにもかあさんいるの?」は、繰り返し語られるいろいろな動物の親子の会話から、お母さんがどれほど子どものことを愛しているかが、温かく伝わってくる絵本です。

カンガルーの子どもにもかあさんいるの?



## 今月の本棚…「ティック・フルーナの世界」

～「ティック・フルーナのすべて」「うさこちゃんときゃらめる」「うさこちゃんとだいすきなおぼあちゃん」



「うさこちゃんとたれみみくん」「ぴーんちゃんとふいーんちゃん」「ポリスとバーバラ」「きいろいことい」など～

言葉や世代を超えて世界中で愛されているオランダの絵本作家「ティック・フルーナ」の作品を集めました。

「ティック・フルーナのすべて」は、ブルーナカラー(赤・黄・青・緑・茶・グレー)や正面向きの効果などのブルーナ世界の秘密や、故郷オランダのブルーナゆかりの地の紹介など、ブルーナファンでなくても楽しめる本です。

うさこちゃんシリーズはただただかわいいお話だけではありません。「うさこちゃんときゃらめる」では、お店のきゃらめるを黙って持って帰ってしまったら、「うさこちゃんとだいすきなおぼあちゃん」ではおぼあちゃんの死を取り上げたり、「うさこちゃんとたれみみくん」では障がいをもった友だちの気持ちに向き合ったり。その都度揺れ動くうさこちゃんの心に、読んでいるこちら胸がつまりそうになります。それでも最後は、素直で優しいうさこちゃんの姿にほっと癒されます。



ちなみにブルーナの絵本の日本語訳は、松岡享子さん・石井桃子さん以外にもいろいろな方がされていますが、「ぴーんちゃんとふいーんちゃん」「ポリスとバーバラ」など角野栄子さんも多く翻訳されています。